



日本共産党 北区議会議員

のの山けん区政レポート

http://kyoukita.jp/nonoyama/ mail@ken-nonoyama.com

No.411 2016.11.16

日本共産党北区議員団
〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は
お気軽に **090-2156-3510**

24日より北区議会第4回定例会

暮らし、まちづくりで論戦

日本共産党北区議員団 3議員が本会議質問に

今年最後となる北区議会第4回定例会が24日に開会します。初日と2日目の本会議では、日本共産党北区議員団から3議員が質問に立ちます。

国保・介護保険の負担軽減を

やまき直人議員は代表質問で、過去最高の533億円に達した主要5基金の一部を活用し、貧困・格差の是正や震災ブレイカー設置補助など区民の暮らし応援の施策実現を求めるほか、高すぎる国保料の減免拡充や来年度から本格的に始まる介護予防・日常生活支援総合事業でサービスを切り下げないこと、さらに介護保険利用料・保険料の軽減を求めます。

十条まちづくりは住民本位で

個人質問に立つ野口ま

さと議員は、駅西口再開発、補助73・85号線道路計画、鉄道立体交差化と附属街路整備など、現在すすめられている十条まちづくりが住民追い出し、商店街こわしにつながることや、徹底して住民の声を聞かないやり方を批判し、計画を強行するのではなく、住民本位のまちづくりにこそ転換せよと迫ります。

障がい者、子ども・若者への支援を

山崎たい子議員は個人質問で、障がい者福祉を充実させるために、グループホームなど住まいの充実や就労支援、ヘルパー養成など人材確保の拡充を提案。また、子ども・若者支援では、子ども食堂の推進、産後うつ予防の無料健診やスクールソーシャルワーカーの正規職員化を求めます。



代表質問

11月24日(木)11:00頃

やまき直人議員



個人質問

11月25日(金)10:30頃

野口まさと議員



個人質問

11月25日(金)13:30頃

山崎たい子議員

十条まちづくりで激論

庶民のまちを乱暴にこわす計画、急いで住民に知らせよう

党区議団学習交流会



学習交流会では、地元住民らと熱のこもった議論が続きました

日本共産党北区議員団は10日、上十条ふれあい館で学習交流会「十条まちづくりを考える」を開催。地元住民ら51人が参加し、東京都と北区がすすめる十条まちづくりの問題点について議論を交わしました。（のの山けん）

冒頭、そねはじめ都議が「まちづくりは住民が主役。みなさんと一緒に、十条のまちづくりについて考えたい」とあいさつ。続いて党区議員団を代表して私が基調報告をおこない、現在の計画

が500軒もの住民を追い出し、3つの商店街を壊滅・寸断に追い込むこと、住民を置き去りにし、都と区の独断専行でおこなわれいることなどの問題点を指摘しました。

その上で、住民本位のまちづくりに転換するために、①鉄道立体交差は「地下化」で、②85号線は拡幅せず現道18mのまま、③西口再開発は住民が合意できる計画に見直しを、④73号線は他の特定整備路線とともに計画撤回を、⑤住民の声が計画に反映される

池内さおり衆院議員（右）と、そねはじめ都議も駆けつけました

しくみづくりを、の5つを提案。交流では参加者から、「それぞれの事業に個別の反対運動は起きているが、十条全体を視野に入れて運動にとりくむことが必要だ」、「これだけの『まちこわし』計画が進んでいるのに、多くの住民は知らない。急いで知らせていく必要がある」など活発な意見が寄せられました。

池内さおり衆院議員も会場に駆けつけ、参加者を激励しました。



十条銀座で署名行動、はずむ対話 庶民のまち十条を守る会



補助73号線計画などに反対する「庶民のまち十条を守る会」が13日、十条銀座でロングラン宣伝。道行く人が何人も展示物の前で足を止め、会のメンバーと熱心に話し込む姿が見られました。まちづくりの見直しを求める署名は300筆を超えました。